

令和3年8月

なばり市議会だより

No. 101

市議会の動きをコンパクトにまとめてお伝えします。今号は 6月 9月 12月 3月 の定例会をクローズアップ

編集/議会広報特別委員会 発行/名張市議会 ● 三重県名張市鴻之台1-1 ☎ 63-7834 ㊚ 64-8870 ✉ gikai@city.nabari.mie.jp

「生理の貧困」に関する要望書を提出！



継続した支援を求めて

新型コロナウイルス感染症拡大の影響を背景に、経済的な理由で生理用品が買えない「生理の貧困」問題が報道され表面化しました。また、複雑な家庭環境により、生理用品を買ってもらえない子どもたちがいることも明らかになりました。

この問題に対応するため、女性議員5人が「生理の貧困をなくそう女性議員の会」を立ち上げ、社会福祉協議会や小中学校の養護教諭へのヒアリングを行うなど検討を重ね、6月25日に市、教育委員会と社会福祉協議会に対して、「生理の貧困」に関する要望書を提出しました。

また、同日、女性議員の取組にご賛同いただいた1団体、市内の事業所3社から社会福祉協議会に寄附がありました。

市長からは、早期に対応していきたいとの回答をいただき、7月7日から、寄附による生理用品が小中学校へ配布され、また、市内15カ所のまちの保健室や市役所などでの無料配布が始まりました。

市議会としましては、支援が継続していくよう広報活動にも取り組んでいきます。

要望事項

1. 市役所、まちの保健室等で必要とする人に生理用品の無償配布を行うこと
2. 災害備蓄品の生理用品の更新を有効に活用すること
3. 学校の保健室等に生理用品を配備するとともに生理についての教育をさらに進めていくこと
4. 生理への理解を深めるための広報活動を行うこと
5. 上記を達成するために関係団体と連携し、継続的に支援する

令和3年6月定例会

12議案を可決・承認

6月定例会(第398回)を6月10日開会、6月28日閉会の19日間の日程で行いました。提出された議案は、条例制定1件、条例改正3件、令和3年度一般会計・特別会計の補正予算5件、専決処分にかかる報告3件です。これらの12議案を本会議・常任委員会で審議し、原案のとおり全て可決・承認しました。

3日間の一般質問では、9議員が登場し市政全般にわたる質問を行いました。

議会へペディア

「専決処分」とは、

議案が議決または決定すべき案件について、議会を招集する時間的な余裕がないとき、市長が代わって意思決定することです。専決処分をしたときは、次の議会に報告して、承認を求めます。



補正予算

一般会計で、3億3607万円の増額補正を行い、増額後の令和3年度一般会計予算総額は282億3907万円となりました。主な事業費では、投資的経費として調整池改修事業に750万円、一般経常経費として、重層的支援体制整備事業に2億4351万円、子育て世帯生活支援特別給付金給付事業に7622万円などです。また、東山墓園造成事業特別会計では440万円の増額、国民健康保険特別会計では200万円の増額、介護保険特別会計では1億1234万円の減額となりました。

Q&A

議員の質問と、市長などの答弁をご紹介します(一部抜粋)。
掲載内容は議員から提出された原文を尊重して、編集しています。

一般質問

【インターネット録画配信】
第398回定例会の
再生リストはこちら



● 学校教育

心風会

永岡 禎 議員



Q デジタル社会の影響

GIGAスクール構想によりタブレットが全児童生徒に配付された。学校生活や授業はどのように変わったのか。また、児童生徒と先生への影響はどうか。タブレットやスマホは、使い方が次第では子どもたちに悪い影響を与える可能性がある。使用についての指導を問う。

A 注視しつつ

タブレットの活用は、スムーズに進められている。子どもたちの学習の様子からは大きな負担は見受けられないが、先生は資料作成などで時間的な負担が増している。解決に向け取り組む。スマホが子どもたちに与える悪い影響は承知しており、今後も注視していく。また、保護者とともに正しい使い方を指導する。



● まちづくり・消防

清風クラブ

坂本 直司 議員



Q 歩いて暮らせるまち

高齢者が、クルマに頼らず歩いて行ける距離内で日常的な買い物などのできるまちをつくる必要があると考える。「歩いて暮らせるまちづくり」の推進について、これまでの取組と今後の進め方を問う。

A まちづくりを強化

現在「ベンチのまち名張」計画を検討している。ベンチの設置により高齢者などの外出促進やそれによる健康の向上、ひいてはまちの活性化につながるものと期待している。高齢になると本市ではクルマが無いと生活しにくいことを理由に転出される人が多いが、名張に住み続けていただきたい。そのためのもちづくりをより強化していかなければならない。



心風会

幸松 孝太郎 議員



Q 人口減少対応策は

本市の人口動態は、社会減や自然減により、昨年比で795人減少している。一方、過去5年間で142世帯346人が本市に移住してきており、県下トップクラスである。市の総合戦略における人口減少対応策を問う。

A 地方創生の取組加速

人口減少が今後も続くことや15歳から29歳までの若者世代の転出が依然多い状況など、課題も多く残っている。対応策として、地域を支える大きな役割を果たす「関係人口(※)の創出・拡大」の取組を進める。地方回帰やテレワークの普及などにより働き方が見直されたことは、地方都市にとって大きなチャンスであり、若者世代の都市部への流出に歯止めをかける対策にもなる。今後、地方創生の取組を加速させていく。

※関係人口…移住した「定住人口」でもなく、観光に来た「交流人口」でもない、地域や地域の人々と多様に関わる人々のこと。

清風クラブ

森岡 秀之 議員



Q 消防の広域連携

伊賀市との消防指令業務の共同運用や、相互応援の強化をはじめとする連携・協力の取組は、災害対応力の強化や経費削減につながるが、現状と今後の進め方を問う。

A 基本構想を策定中

伊賀市・名張市消防連携・協力検討委員会の中で消防通信指令施設の機器構成、共同運用の運営方式、費用の負担割合、配置人員などを協議し、「消防指令業務共同運用基本構想」の策定を進めている。令和6年4月からの運用開始に向け、令和4年1月に両市間で伊賀市・名張市消防連携・協力に関する協定書の締結を予定している。





A 県と連携し研究する

QRコードの活用は、感染防止対策に取り組む店舗の利用につながるかと考える。本制度をさらに効果的に実施できるような県と連携を図り研究していく。

Q 認証制度について

県は「あんしんみえリア」制度を創設し、新型コロナウイルス感染症防止対策に取り組む飲食店などから申請を受け、38項目の基準に基づき現地確認の上、認証ステッカーを交付すると発表した。その基準が守られているかの確認方法として、ステッカーにQRコードを付け利用者の声が反映できるように継続した感染防止対策を望む。



喜働
足立 淑絵 議員



Q 感染予防の体づくり

ウイルスは人類よりもはるかに早いスピードで変化するため日頃からの感染予防が大切だ。泉大津市では免疫力を高める食事指導、自宅待機者の重症化抑制指導、感染後の後遺症者への回復サポートなど行っているが、本市はどうか。

A 平時からの健康教育

感染予防としてはマスクの正しい着用、丁寧な手洗いがいの励行、手指消毒、換気の徹底などをお願いしている。疾病を予防するための体づくりとしては平時から高齢者サロンなどでの健康教育に努め、また、自宅でできる体操などを本市公式動画チャンネルで配信している。自宅待機の感染者への指導や後遺症者への対応は県が行うが、本市としても自宅療養者の生活支援などを行う。

Q 社会的孤立をなくす

新型コロナウイルス感染症の影響を受け、生活困窮者などの社会的孤立が深刻化している。その対策である重層的支援体制について、本市の状況と対策を問う。

A リンクワーカー養成

社会的養護(※)の児童への対応については、関係機関と市が定期的に情報を共有し連携を図る。また、生活保護の相談件数が増加する中、生活困窮者に対して「断らない相談支援」で包括的な伴走型支援を行い、早期発見や自立支援に努める。SNSなどを活用して、多言語による外国人住民向けの情報発信や若年女性からの相談体制づくりを行う。これらさまざまな課題を支援につなぐリンクワーカーの養成が重要である。



自由クラブ
木平 秀喜 議員



Q 学校でのコロナ対策

本市では、体育の授業でのマスク着脱の規定は設けていないのか。また、教室に二酸化炭素(CO₂)濃度を知らせる測定器を導入し換気するタイミングを分かるようにするにはどうか。小中学校の各学級に1台ずつ導入すると約348万円かかるが、子どもたちが安心して授業を受けられるよう、導入を求め。

A 指導を行っている

運動時のマスク着脱のルールは作成していないが、衛生管理マニュアルの運用に基づき、体育の時間などにはマスク着用の必要はないと指導している。CO₂濃度測定器の導入については他市の状況を確認する。

※社会的養護：虐待や経済的理由など、家庭的な理由で保護者のもとで暮らせなくなった子どもたちを、公的な責任として社会的に養育すること。



Q & A
その他質問

Q 避難所用備品

線状降水帯は、激しい雨を降らせる積乱雲が連続して発生し、同じ場所でも激しい雨を降らせる。土砂災害や河川の氾濫などの危険性が高まり、状況に応じ早めの避難が重要となる。避難所用備品購入について問う。



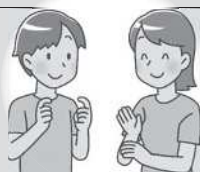
A 新しい案内標識

市の指定避難所は52カ所ある。停電時や夜間でも分かるように蓄光機能を備え、避難所がどの災害に対応しているかを示す図記号(ピクトグラム)のついた新しい案内標識を購入し、フェンスなどの比較的低い場所に設置する。



聴覚に障害のある人も手話通訳などを介して本会議を傍聴していただけます。

手話通訳をご希望の場合は7日前までに、ヒアリングループ装置の利用をご希望の場合は3日前までに議会事務局にご相談ください。



「議会録画中継」配信中！
市議会の情報はホームページやSNSでも随時掲載しています。

CATV(アドバンスコープ203ch)で生中継されている本会議の様子は、おおむね1週間後にインターネットから録画配信をご覧いただけます。議会録画中継をご覧いただくには、名張市議会ホームページの左上バナーをクリックしてください。市議会情報はホームページやSNSでも随時掲載中



スマホでもサクッと市議会情報をチェック！

第398回定例会 議決結果

全会一致
議案

▼専決処分した事件3件(市税条例等の一部改正、令和2年度一般会計補正予算(第10号)、令和3年度一般会計補正予算(第2号))▼ケアラー支援の推進に関する条例の制定▼個人情報保護条例及び行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律に基づく個人番号の利用及び特定個人情報の提供に関する条例の一部改正▼手数料徴収条例の一部改正▼東山墓園の設置及び管理に関する条例の一部改正▼令和3年度一般会計補正予算(第3号)▼令和3年度東山墓園造成事業特別会計補正予算(第1号)▼令和3年度国民健康保険特別会計補正予算(第1号)▼令和3年度介護保険特別会計補正予算(第1号)▼令和3年度一般会計補正予算(第4号)

ここに注目!

あてんしよんぱり〜ず



6月28日の本会議において、病気や障害などをもつ家族の介護や世話をしている家族介護者(ケアラー)を社会全体で支援するため必要な事項を定めた「名張市ケアラー支援の推進に関する条例」を全会一致で可決しました。

質疑(教育民生委員会)

Q 地域福祉教育総合支援ネットワークを活用した包括的な支援体制をさらにアピールすべきでは。

A ケアラー支援も含め、誰も孤立させない、誰一人取り残さない支援を進めていく。また、寄り添い伴走型の支援を進めるため、引き続き、リンクワーカーや有償ボランティアを養成していく。

議会改革 ing

◎ 政務活動費の収支報告書などを公開しています

令和2年度分の政務活動費収支報告書と領収書の写しや、各会派の政務活動報告書の写しを庁舎1階の行政情報閲覧スペースまたは市議会ホームページで閲覧できます。



政務活動費収支報告書 政務活動報告書

会派名	交付額(円)	支出額(円)	残額(円) (返還額)	執行率
公明党	960,000	636,077	323,923	66.3%
清風クラブ	960,000	577,779	382,221	60.2%
心風会	720,000	621,668	98,332	86.3%
自由クラブ	720,000	688,988	31,012	95.7%
喜働	480,000	295,426	184,574	61.5%
無会派 森脇 和徳	240,000	183,732	56,268	76.6%
無会派 三原 淳子	240,000	189,283	50,717	78.9%
計	4,320,000	3,192,953	1,127,047	73.9%

※「名張市議会政務活動費の特例に関する条例」に基づき、令和2年度後期(10月~3月)分の政務活動費は交付していません。
※残額については名張市へ返還しています。

議会の日程

※予定を変更する場合があります。

開会時間は午前10時からです。

全ての本会議(委員会を除く)がCATVで生中継されます。

8月31日(四) 開会	10日(金) 決算特別委員会(一般・特別会計)
9月 3日(金) 一般質問	13日(月) 決算特別委員会(企業会計)
6日(月) 一般質問	14日(火) 総務企画委員会
7日(火) 一般質問	15日(水) 教育民生委員会
8日(水) 補正予算	16日(木) 産業建設委員会
9日(木) 決算	22日(水) 採決
	10月6日(水) 役員改選

名張市議会 News

◎ 産業建設委員会が名張商工会議所と懇談会を実施

産業建設委員会は5月13日、「コロナ禍における市内産業の状況」について、名張商工会議所との懇談会を実施しました。参加いただいた市内事業者の方からは、コロナが収束しない限りは事業の見通しが立たないとのご意見や、借入への利子に対する支援、飲食周辺事業者への補助など各種支援に関するご要望などをいただきました。



いただいたご意見、ご要望については、ワクチン接種の状況や新型コロナウイルスの感染状況を鑑みながら、今後、委員会で引き続き検討してまいります。

◎ 教育民生委員会が小中学校を現地調査

教育民生委員会は7月1日、市内小中学校において、所管事務調査を実施しました。

名張中学校では、「GIGAスクール構想に伴うタブレット端末の活用状況」として、タブレット端末を用いた授業を視察し、その後、小中学校におけるICTの活用と今後の方向性について調査を行いました。



タブレット端末を活用することで、子どもたちの学ぶ意欲が高まり、主体的・対話的で深い学びの授業が可能となるなど多くのメリットがある反面、従来からの紙の教科書・教材による授業の方が効果的な場合もあり、アナログの良さを生かしつつ、デジタル化を図っていくことが必要と感じました。

また、百合が丘小学校では、「新型コロナウイルス感染症対策」として、学校のコロナ対策の取組と課題について調査し、その後、教職員などが実施している、各教室や手洗い場などの消毒作業を視察しました。







長引くコロナ禍での子どもたちの心身のケアのほか、毎日の消毒作業や3密対策など教職員の負担は増大しており、負担軽減のためのサポートなど、職場環境の改善が喫緊の課題であると感じました。

■ 議員3人が在職10年の表彰を受けました

幸松 孝太郎議員、森岡 秀之議員、常俊 朋子議員の3人が、全国市議会議長会および東海市議会議長会から市議会議員在職10年の表彰を受け、6月10日の定例会開会前に議場にて表彰伝達式が行われました。



議場の小窓 ~広報委員のつぶやき~

 森脇 市民と議会を繋ぐ「架け橋」として議会広報の充実に努めます。	 足立 分かりやすくスムーズに読める文章づくりに努めました。
 荊原 臨場感は伝わりにくいので正確に情報を伝えるよう意識しています。	 坂本 伝えるために、コロナという制約、字数という制約が言葉を磨く。
 木平 本市のワクチン接種への取組みは、スピード感がある。	 阪本 議会の出来事を市民の皆さんにわかりやすくお伝えしていきます。